

こんにちは。皆様、いかがお過ごしでしょうか？寄稿してもらいましたよ。じっくりと心で。

みなさん、こんにちは。休校が続く日々、どう過ごしていますか？生徒がいない毎日、もちろん仕事もしていますが、3月に入って読書の日々が続くようになりました。3日に1冊のペースで、新刊読んだり昔読んだものを引っ張り出して読み直したり。

つい先日読み終えたのは、プレイティみかさんの『ぼくはイエローで、ホワイトで、ちょっとブルー』。「あ！」って思った人も多いはず。そう、最近話題になっていますよね。イギリス在住のみかさん（しかも福岡の方！）が中学生の息子との生活を描いたノンフィクション作品。で、読んでいく中で、その息子ちゃんの言動に心打たれる部分が多々あるんですが、今回は本の紹介が主な目的ではないので（でもぜひ読んでほしい！多感な時期にいるみんなにこそ読んでほしい！）これくらいにして…



ここ2週間、進路のことについて家族や友人と話す時間はありましたか？学校にいと、否が応でも2者面談やHRで進路の話が出てきますよね。でも今のこの状況の中で、なんとなくそんな話から（そして勉強からも！？）遠のいているんじゃないかと心配している一教員がここにいます。。でね、特に心配なのは、未だ進路がぼんやりしている人たち。いや、はっきり〇〇大学の△△学部！！って生徒全員が決めているとは思いません。でも、あまりにぼんやりとしている人は、せめて自分が何に興味があるかは常に意識してほしいんです。それが将来の仕事に繋がるのは大いに有り得る話だから。

で、だーいーぶ、前置きが長くなりましたが、ここからは、とっても（KING OF）POPな興味がきっかけで、今の仕事に行きついた私の話を聞いてやって下さい。（聞いたことある生徒は広い心でもう1度♪）

Q：教員になったきっかけは？ — A：マイケル・ジャクソンです♡



8歳上の姉の影響でマイケルのファンになったのは5歳の頃。始めは、ダンスのカッコ良さにメロメロで、三姉妹でレコード回して“Pow!!”と叫んだり Moon Walk の真似したり、マイケル一色でした♪ 小学校、中学校と上がる中で、彼の歌を英語で歌いたいと思い、歌詞を覚えるのに必死でした。で、忘れもしない中学2年生の時！なんと、福岡ドーム（現：PayPayDome）にマイケルがやってきたんです☆ チケット売り場は長蛇の列！（当時はインターネットなんて無かったし）。夢の“Dangerous Tour”は、感動・感激・感涙(TvT)もっと世界中の人と彼の魅力について語り合いたいと、MJ International Fan Club

に入会。アメリカ・ベルギー・イギリス・フランスのファンと文通が始まりました（当時、Eメールなんて無かったし）。

高校2年の時、再びマイケルがコンサートで来福☆ もちろん行きましたとも！2日連続で(^v^)このコンサートが決定打となり、大学に入ったらアルバイトでお金を貯めて、マイケルのいるアメリカに行く！という野望と共に、更に英語学習熱が上昇♫ 18歳で友人とLAを訪ね、かの有名なマイケルのネバーランド（現在は売却済）を目指しましたが場所が分からず、コンドミニアム（別荘）は見つけたものの警備員らしき男性から不審者扱いされ逃走（汗;）この頃でしたね、いかに自分が外の世界の広さを知らないか、いかに小さな人間か（あ、体は大きいけど）を痛感したのは、で、もっと多くの世界を見たいと思いました。

—そしてイギリス留学へ

なんでアメリカじゃないん？って時々聞かれます。もちろんマイケルは好きだけど、当時、イギリス映画やカズオ・イシグロ（知ってますか？2年前にノーベル文学賞を受賞した作家さんです）にも興味があり、且つ社会言語学を勉強するには様々な国が隣り合わせにあるヨーロッパがGOODと思いイギリスを選びました。（留学するなら、必ず自分でお金を貯めて行くか、奨学金を利用すべき。



親のお金に甘えないこと。）イギリスではどんな素敵なイギリス紳士と出会えるんだろう♪と、半ばミーちゃんハーちゃんな気持ちで渡英したのが大間違い。大学はイギリス北部の街に位置し、当時（今も）階級社会が根強く残るイギリスの中でも、労働者階級が多く住む街で、方言も強い（日本で習った英語はどこへやら）。買い物に行けば“Yellow Monkey”やら“Jap”やら差別用語を浴びることもあり、しまいには戦争の苦い思い出から日本人を嫌ってか、大学へ通う途中で、高齢のイギリス人男性から日本人バッシングの罵声と共に水をかけられたことも。あ…、なんか悪いことばっかやんって思ってますか？違うんです。今となってはこれらのことが私にとって良い思い出なんです。目が覚めた。これらの経験が、目覚めさせてくれたんです。もちろん、大学の学生との毎回のディスカッションは刺激的でしたし（始めは議論についていけず、辛いのと悔しいのとで、夜、泣きながら勉強する日が続きました T\_T）、社会言語学の分野で注目していた南アフリカ共和国の元大統領ネルソン・マンデラ氏（世界史の資料集にも載ってますね！）が偶然にも街にやって来て、生でスピーチを聴けたことは最高の思い出（しかも彼までの距離2m！あまりの偉大さに鮫肌。。いや、鳥肌&号泣 T\_T）、そして長期休暇には Backpacker となりヨーロッパを周り。。約1年半のイギリスでの生活は、毎日がドラマでした。

と、思い出話が続いていますが、この辺で結論に入ります（留学を勧める話ではありません）。今、私が教壇に立っているのは、マイケル♡→英語熱→留学での経験→英語熱→世界の面白さを共有したい→教員 なんです（でも英語至上主義ではありません）。人生、何がきっかけで大きく変わるか分からない。だから常にアンテナを張りながら1日1日を大切に送ってほしいんです。人との出会い、何気ない会話。その中に数え切れないほどの生きるヒントを見つけられるはずですよ(^v^)